

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドタワー
代 表 者 名 代表取締役 会長兼社長 CEO 藤原 洋
(コード番号 3776)
問 合 せ 先 常務取締役 法務・経理統括 中川 美恵子
(TEL. 03 - 5202- 4800 代)

特別損失の計上及び業績予想の修正について

平成 30 年 12 月期通期決算（平成 30 年 7 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）において、子会社株式評価損及び固定資産の減損損失を計上する見込みとなり、あわせて業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 子会社株式評価損の計上について

本年 12 月 21 日「子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」で公表したとおり、株式会社 IoT スクエアについて、経営成績及び財政状態を考慮し約 490 百万円の子会社株式評価損を計上する見込みです。なお、連結決算における影響額は約 30 百万円となる見込みです。

2. 固定資産の減損損失の計上について

データセンターサービス、クラウド・ソリューションをはじめ当社グループが提供するサービスについては、価格競争等の影響を受け、これらのサービスを取り巻く環境は厳しい状況が続いております。このような事業環境下、今後の収益を予測した結果、将来において設備投資の回収が困難な見込みである一部のサービス設備について減損処理をすることといたしました。減損損失は、個別決算において、データセンターサービス設備、クラウド・ソリューション設備等で約 190 百万円を計上する見込みです。また、連結決算においても同額計上する見込みです。

3. 業績予想の修正について

個別業績予想においては、売上高はコンピュータプラットフォーム事業のデータ・ソリューションの売り上げが前回発表予想を上回って推移しております。経常利益は広告宣伝費をはじめ効果的な支出に努め、概ね前回発表予想どおりに推移しております。当期純利益は、上記に記載のとおり、固定資産の減損損失及び子会社株式評価損を計上する見込みであることから前回発表予想を下回る見込みです。

また、連結業績予想においては、個別業績予想に加え、主に、メディアソリューション事業を行うジャパンケーブルキャスト株式会社が本年 10 月に子会社化した沖縄ケーブルネットワーク株式会社の売上高約 400 百万円とそれに伴う利益を見込んでおります。なお、業績予想につきましては、今後の当社および連結子会社各社の決算によって変動の可能性がございます。

(1)平成 30 年 12 月期 通期個別業績予想値の修正 (平成 30 年 7 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,700	百万円 △305	百万円 390	円 銭 7.62
今回修正予想 (B)	3,880	△315	△45	△0.88
増減額 (B-A)	180	△10	△435	
増減率	4.9%	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 6 月期)	7,560	121	295	5.78

(2)平成 30 年 12 月期 通期連結業績予想値の修正 (平成 30 年 7 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,800	百万円 △700	百万円 △740	百万円 10	円 銭 0.19
今回修正予想 (B)	6,325	△550	△590	95	1.86
増減額 (B-A)	525	150	150	85	
増減率	9.1%	—	—	850.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 6 月期)	10,731	△80	△20	△330	△6.45

以 上